



令和2年11月30日
豊玉南小学校たより

令和2年度 12月号

とよみなみ

AIに負けない力

校長 風見 由起夫

カンカン、カカン、カンカンと切符を切るはさみをリズムよくならす駅員さんを、かっこいいなと思ったのは小学生低学年の頃でした。当時、大きくなったら鉄道関係の仕事につきたいと思っていた少年は、今学校で働いています。

先日、6年生の国語の授業研究（授業を校内の教員で見合い、よりよい授業を考える会です）を行いました。授業の中で卒業文集の原稿作りに挑戦していた6年生は、将来の夢をテーマに、将来になりたいものについて話している子もいました。野球・サッカー選手、医者、教師に混ざって、ゲームプログラマーなど、カタカナの職業もでていました。数年前までは職業として確立していなかったユーチューバー、eスポーツ（コンピューターゲームで競う）なども、今では将来の夢の選択肢の一つになってきています。

新たな職業、仕事が出てくる一方、消えた仕事もあります。冒頭の切符切りの仕事は、自動改札の普及とともに姿を消しました。子どもたちが成長し社会に出て行く時には、さらに新たな職業、仕事が登場するのでしょうか。昭和生まれの私には想像もつきません。

シンギュラリティ（技術特異点）という言葉があります。AI（人工知能）が人間を越えて進化し、予測不可能な時代になる転換点のことをさす言葉です。2045年が、その転換点だと言われています。今の小学生の子どもたちが30代の頃です。その時はどのような社会になっているのでしょうか。

AI（人工知能）が得意なことは、単純な労働、データのスピード処理、共通点を見つけることだそうです。反対に苦手なことは、創造的な作業、文章の解釈、考えることです。AIがどんなに進化しようとも、私たちは考え、創造していくことが大切なようです。今年度から完全実施の新学習指導要領にも、「考える力」「学んだことをいかす力」を育てることの重要性が記述されています。知識を単純に覚えるのとは違い、この力を育てていくことはたやすくありませんが、しっかりと進めていきたいと考えています。

さて、駅員さんの仕事から切符を切る仕事がなくなったように、近い将来、学校からもなくなるかもしれないものがでてきました。教科書、黒板、チョークといったものです。今、令和3年2月に児童一人一人にタブレットパソコンを貸与する準備を進めています。家庭、学校どこでも学習が行えるようにすること、一人一人が自覚をもって学習に取り組んでいくことをねらいとして、練馬区内の全ての小中学校でタブレットパソコンの活用を進めることになりました。配布、貸与が近づきましたら、取り扱い方法や留意事項について、改めてご連絡します。

12月の行事予定

3日(木) 大なわ集会	14日(月) クラブ活動(4～6年)
7日(月) 委員会活動(5・6年)	16日(水) 元気会遊び(1組)・補充教室
8日(火) 安全指導日	17日(木) 元気会遊び(2組)
10日(木) 集会	情報モラル教室(5年)
11日(金) 避難訓練	18日(金) 元気会遊び(3組)
12日(土) 土曜授業日(公開なし)	21日(月) クラブ活動(4～6年)
自転車乗り方教室(4年)	22日(火) 選挙体験教室(6年)
特別音楽授業(1～3年)	24日(木) 音楽集会
音楽発表会・薬物乱用防止教室(6年)	25日(金) 2学期終業式

※3学期始業式は1月8日(金)です。(集団登校始)

※練馬区連合美術展と連合書写展の開催は、新型コロナウイルス感染症のため中止となりました。

けじめのある生活をしよう

この目標は健康で、明るく、楽しい学校生活を送ることの基本です。廊下は右側を歩行することや、チャイムが鳴ったら席について学習の準備をすることなど、当たり前なけじめのある生活が出来た子を育てていきます。今、子供たちは大縄集会に向けて、各学級、練習に励んでいます。練習に熱が入る中でも時間を守って行動できるとよいです。「けじめのある生活」を尊重し、実践する態度が育つよう声掛けしていきます。

＜5年生の窓＞

5年担任 成田 優喜

6月から本格的に学校が再開となり、5か月が経過としています。5年生は今年から委員会活動が始まり、自分の仕事の割り当てになると、進んで活動に取り組む姿勢が見られるようになりました。どの委員会の仕事にも慣れてきており、活動に着実に取り組めるようになってきています。

それに加え、10月号でもお伝えしたように「養殖体験プログラム」でヒラメのお世話もしています。あれから順調に成長しており、エサも1粒が倍の大きさに変わりました。それに伴って成長も早くなっています。また、海水の交換や海水づくりなど、新たなお世話も入ってきています。学級ごとに、大きく育てる方法を調べ、調べたことを基に、工夫して育てています。

このように、5年生は学年だけでなく、学校の仕事も受けもち、また、自分で考えて活動に取り組んでいけるようになってきています。そのような中で、日々成長していると感じています。

あと4か月すれば、豊玉南小学校の最高学年になります。残りの時間で、より多くの経験を通して、豊玉南小学校をけん引していく存在になれるように努力してほしいと思います。

＜百人一首検定＞

担当 手塚 小織

6年間で100首を覚えることを目標に、百人一首に取り組んでいます。覚える札の数の目標は、1・2年生40首、3年生60首、4年生以上100首です。児童が取り組みやすいように、20首ごとに色分けされた五色の札のセットを各クラスに置いてあります。

11月に1回目の百人一首検定を実施しました。一回に10から20首の札を覚えて検定を受けます。各学年の目標札数を覚えると賞状を渡します。100首合格者には「合格バッジ」も渡しています。また、4～6年生で100首覚えると「百人一首名人」として検定委員に認定されます。2回目は2月に実施します。

日本人の心と体に刻み込まれている和歌のリズム、この伝統的な文化を楽しみ、触れるよい機会と考えています。是非ご家庭でも百人一首をお子さんと一緒に口ずさんでみてください。

◇給食費・教材費 引き落とし日

- ①12月 7日(月) ②12月15日(火)
入金をよろしくお願い申し上げます。

〈ICT タブレットの導入〉

担当 乙藤 康次郎

4、5月に休校期間があったこともあり、ICTを活用した学習の重要性がより注目されています。練馬区では来年度から児童一人に一台タブレット端末が配布され、本格的に学習の道具として使用していくことが決まりました。豊玉南小では、今年度末からタブレットを使った授業の実践や家庭学習の提案をしていく予定です。数年後には、学校の授業と家庭学習をつなぐ大切な道具となっているかもしれません。鉛筆と同じように子供も大人も使いこなしていけるよう、研修していきます。

〈給食指導〉

栄養士 藤田 純恵

豊玉南小学校には、毎日の給食を楽しみにしている子供たちがたくさんいます。安全においしく給食を食べられるように、教職員が連携して指導にあたっています。

感染症を予防するため、今年度は給食時間の過ごし方が変わりました。班を作らずに全員が前向きで食べる、食事の会話は控えるなど、初めのうちは慣れないこともありましたが、教職員の声かけと子供たちの頑張りのおかげで、今では新しい方法がすっかり定着しました。

給食の時間は、貴重な食育の場でもあります。栄養士が作成し、各クラスに配布している「ランチタイムズ」では、旬の食材、栄養バランスの大切さ、郷土料理、世界の料理などを紹介しています。また、担任の先生は、バランスよく食べられるように、苦手なものにもチャレンジできるように、子供たちに声をかけています。食に関する知識が広がるよう、給食を題材にしたお話をすることもあります。

学校給食は、子供たちの健康を願って作られています。給食を通して多くのことを学べるように、これからも学校全体で協力しながら、給食指導を進めていきます。